

Web**ブラウザでの簡単設定**

機能概要

本装置はWebブラウザを使って設定を行うため、お使いのパソコンやOSの種類を問わず簡単な操作で設定できます。



2 する 単備を

設定する前に

本装置を設定するための動作環境や、設定する前に必要な手順を説明します。

動作環境

Windows[®]98、Windows[®]95、Windows NT[®]、Macintoshが動作しているパソコン 3Mバイト以上の空きがあるハードディスク

設定するまでの手順

本装置はお買い求め時の設定値(工場出荷時の値)のままでも、アナログ通信機器を接続してご利用になれま すが、より便利にお使いになるためには、本装置の設定が必要です。 以下の手順で、設定を行うための準備を行ってください。



本装置には、あらかじめIPアドレス(192.52.150.1) が設定されています。本装置の設定を行う前に、既存の LANへの接続は絶対にしないでください。

ても、設定することができます。

ド』を参照してください。

パソコンの詳細設定については『クイックスタートガイ



本装置の機能を活用するためには、各種パラメータを本装置に設定する必要があります。 パラメータの設定方法には以下の方法があります。

		ルータ機能	電話機能	その他の機能
Webブラウザを使った設定				
コマンドを	10BASE-Tポート経由			
使った設定	シリアルポート経由			
アナログ電話機を使った設定				×

:設定できます : 一部設定できます ×:設定できません

Webブラウザを使った設定の流れ

本装置はWWWサーバ機能を持っています。Webブラウザ(Netscape Navigator、Internet Explorerな ど)を使って本装置にアクセスし、設定を行います。

イル(F) 編集(E) 表示()

アドレス http://192.52.150.1

• 🕆 • 🔛

Webブラウザを起動します。

URLに「http://192.52.150.1 (本装置のIP 2 アドレス)」と入力します。

177)

S.

-

🚰 C:¥Program Files¥Blank.htm – Microsoft Internet Explorer

包練

<u>للہ</u>

ば 更新

。 ゆ]ページがま

設定画面が表示されます。

a MUC 編集(E) 表示(V Q アドレス 創 htt MUCHO /ーフレーム形式 ユーザ<u>登録</u> мисно バスワード登録変 現在時刻の設定 Web設定/コントロール ルータの 間里設定 便利な設定 詳細設定 電話の ・ (の インターネット ゾーン

次ページへ続く

3

2 ┃ する 】 定の準備を

4 メニュー画面から設定したい項目をクリック し、設定を行います。

- ユーザ登録(**☞**P49)
- ・パスワード登録変更(●P50)
- 時刻の設定(**~**P54)
- ルータ設定(♥P143)
- 電話設定(◀P123)
- ●ダイヤルアップ回線制御(&P249)
- インフォメーション(♥P257)
- •リセット(☞P39)

5

お知らせ

フレーム表示ができないWebブラウザを お使いの場合は、項目が正しく表示され ないことがあります。この場合、フレー ム表示ができるWebブラウザをお使いに なるか、それ以外の場合は[ノーフレー ム形式]をクリックしてください。 Webブラウザは一度アクセスした画面の 内容を一定の期間記憶しておくことがで きます。再度同じ画面を表示しようとす ると記憶している画面を表示するため、 最新の設定内容が表示されないことがあ ります。最新の設定内容を表示するには、 Webブラウザの履歴(キャッシュ)をクリ アするか、再読込みをしてください。 モデムを使ってインターネットに接続し ていた場合は、Webブラウザの接続設定 をLANを使った接続に変更してから、本 装置にアクセスしてください。 本装置のお買い求め時(工場出荷時)のIP アドレスは「192.52.150.1」に設定され ています。はじめて本装置にアクセスする ときは、URLに「http://192.52.150.1」 と入力してください。 コンフィグレーションパスワードが設定 されていない状態でルータ機能の設定を 行うことはできません。先にコンフィグ レーションパスワードを設定してくださ ll_o (≪P52) 設定画面が表示されない場合は、次の内 容を確認してください。

- ケーブルの接続 (← P30、31)
- ・端末の設定(●P32)
- Webブラウザの操作に関しては、ソフト ウェアメーカにお問い合わせください。

メニューから設定したい項目を選んでいく と、設定値などを入力する画面が表示される 前に、ユーザIDとパスワードの入力画面が表示されます。

6 ユーザID (root) とパスワード (ログインパ スワードまたはコンフィグレーションパス ワード)を入力し、[OK]をクリックします。

|設定が終わったら[送信]をクリックします。

本装置では[送信]をクリックして有効になる項目と、リセット すると有効になる項目があります。リセットすると有効になる項 目を変更した場合にはリセットしてください。(~P39)



コマンドを使った設定の流れ(10BASE-Tポート経由)

本装置は、コマンドを入力しても機能設定を行うことができます。

10BASE-Tポート経由で設定する場合は、ログインパスワードを登録し(*P51)、telnetでログインしてから設定を行います。

ここではMS-DOS画面からtelnetを起動して設定する方法を説明します。その他の方法で起動する場合はパソコンの取扱説明書などを参照してください。

1	MS-DOS画面を起動します。
2	「telnet LAN側IPアドレス」を入力します。 以下では、本装置のLAN側IPアドレスに「192.52.150.1」を 例としています。お使いの本装置のLAN側IPアドレスを入力して ください。
	c:¥WINDOWS>telnet 192.52.150.1
	telnetが起動し、画面に次のよ ▼ うに表示されます。
	Login password:
3	ログインパスワードを入力します。 入力するパスワードは表示されません。また、カーソルも動きま せん。はじめてお使いになるときは、パスワードは設定されてい ません。[Enter]キーを押してください。 本装置にログインレます
	Login password.
4	プロンプトが表示され、コマンド入力待ち状 態になります。
	#
5	ルータ機能を設定する場合はコンフィグレー ションモード、電話機能を設定する場合は TELモードに移行します。(◆P41)
6	設定したい機能のコマンドを入力し、設定を 行います。
	 パスワード登録変更(~P51) 時刻の設定(~P54) ルータ設定(~P143) 電話設定(~P129) ダイヤルアップ回線制御(~P249) リセット(~P42)
7	 設定を保存します。(☞ P42)
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

リセットします。(*≪*P42)



ワンポイント

コンフィグレーションモードを終了する には(*P42)

TELモードを終了するには(#P42)

お知らせ

コンフィグレーションパスワードが設定さ れていない場合は、コンフィグレーション モードへ移行できません。先にコンフィグ レーションパスワードを設定してください。 (◆P53) 2

┃ する 】 定の準備を

電話機能の設定を保存する

電話機能は、設定した時点で本装置に有効となりますが、設定 内容は本装置に保存されません。

保存する場合は次の操作を行ってください。

設定が本装置に保存されます。(例)TEL1ポートを設定中

tel1# 9*#

2 TELモードを終了するには、「exit」と入力 します。

tel1# exit

#

3 | TELモードが終了し、コマンド入力待ち状態 になります。

装置をリセットする

更新された設定内容は、本装置がリセットされない限り有効に なりません。設定を有効にするには必ず本装置をリセットして ください。

│ コンフィグレーションモードのコマンド入力 │待ち状態で「exit」と入力します。

conf#exit

7 次

次のように表示されたら「y」と入力します。 コンフィグレーションモードが終了し、設定が保存されます。

conf#exit configuration modified. save OK? (y/n) :y



コマンドを使った設定の流れ(シリアルポート経由)

シリアルポート経由で設定する場合は、ターミナルソフトを使って設定を行います。

ここではWindows[®]98に付属されているハイパーターミナルを使って設定する方法を説明します。(*P45) その他のターミナルソフトを使う場合は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

接続に使用するケーブルおよび通信速度

機種	ケーブル種別		通信速度
MUCHO-EX / EV	クロスケーブル		9600bps(固定)
	1	パソコンでん す。	ヽイパーターミナルを起動しま
	2	本装置の電源	ēを入れます。(←P30、31)
	3	ログインパス	、ワードを入力します。
		入力するパスワー せん。はじめてお ません。[Enter] 本装置にログイン	ドは表示されません。また、カーソルも動きま 使いになるときは、パスワードは設定されてい キーを押してください。 します。
		Login password:	

次ページへ続く



プロンプトが表示され、コマンド入力待ち状 4 態になります。 # 5 ルータ機能を設定する場合はコンフィグレー ションモード、電話機能を設定する場合は TELモードに移行します。(●P41) 6 設定したい機能のコマンドを入力し、設定を 行います。 •パスワード登録変更(●P51) ●時刻の設定(●P54) ルータ設定(●P143) • 電話設定 (← P129) ダイヤルアップ回線制御(*P249) •リセット(☞P42) 設定を保存します。(← P42)

コンフィグレーションモードで設定を変更した場合は、本装置を リセットします。(#P42)



モードを移行するには (******P41)



次ページへ続く



4 [接続方法]に[Com 1へダイレクト](コ ンソールケーブルをCom 1に接続した場合) を指定し、[OK]をクリックします。

(例) Com 1に接続したとき

接続の設定	? ×
電話番号の情報	を入力してください。
国番号(<u>C</u>):	日本 (81)
市外局番(E):	045
電話番号(<u>P</u>):	
接続方法(N):	Com1 ∧ダイレクト
	<u>OK</u> キャンセル

5 COMポートのプロパティを入力し、[OK] をクリックします。

ビット/秒	:9600(固定)
データビット	: 8
パリティ	:なし
ストップビット	: 1
フロー制御	: Xon / Xoff

COM1のプロパティ ポートの設定	? ×
ビット/秒(B): [9600
データ ビット(<u>D</u>): [8
パリティ(空): [なし <u>・</u>
ストップ ビット(S): [1
フロー制御(<u>F</u>): [Xon / Xoff
詳編設定(<u>A</u>)	既定値に戻す(R)
OK	キャンセル 道用(金)



これでターミナルソフトが用意できました。

アナログ電話機を使った設定の流れ

電話機能(アナログ機能)については、本装置に接続されたアナログ電話機からも設定することができます。 設定方法については、「電話機を利用した設定」を参照してください。(~P81) 2

■ する 単 ずる



設定を初期化するには

コマンド、操作ボタンを使って本装置を初期値(工場出荷時の値)に戻すことができます。 初期化すると、ログインパスワード、コンフィグレーションパスワードもクリアされます。

コマンドを使って初期化する 本装置の電源を入れ、ログインします。 (**☞**P40、43) # 「reset -d」と入力します。 #reset -d 3 コンフィグレーションパスワードを入力し ます。 入力するパスワードは表示されません。またカーソルも動きま せん。 #reset-d Configuration password: お知らせ 4 確認の画面が表示されますので、リセット 「コマンドを使って初期化する」の手順3で、 してよければ「y」を入力します。 コンフィグレーションパスワードが設定さ Do you want to continue (y/n)?: y れていない場合は、「not yet password」 と表示されますので、まずコンフィグレー 設定がリセットし、本装置が再起動します。 ションパスワードを設定してください。 (**☞**P52)

操作ボタンを使って初期化する

本装置の電源を切ります。

2 [発歴]ボタンを押しながら、電源スイッ チを入れます。

前面のディスプレイに「デフォルト リセット シュウリョウ」 と表示されるまで[発歴]ボタンを押し続けてください。 「デフォルト リセット シュウリョウ」と表示されたのを確 認し、再度電源スイッチをOFF / ONしてください。



ユーザ登録

Webブラウザを使いインターネット経由で、本装置のユーザ登録ができます。インター ネットを使ってメールが送信できるときは、Webブラウザを使ったユーザ登録が便利で す。弊社でのユーザ登録が完了しだい、登録完了メールなどでご連絡いたします。 メールによるユーザ登録のほか、FAXによる登録も行っています。付属品のユーザ登録 用FAX用紙に必要事項を記入し、ユーザサポート係まで送付してください。



お知らせ

装置シリアル番号は、本装置の右側面に 貼付されている品名シールに記載されて います。(**☞**P27)

Webブラウザからユーザ登録した場合 は、FAXでユーザ登録していただく必要 はありません。

また、FAXにてユーザ登録した場合は、 Webブラウザからユーザ登録していただ く必要はありません。

すべての項目を入力し終わったら、登録内容 4 を送信します。

すぐに送信するときは、[すぐ送信]をクリックします。

ボタン名	機能
後で送信	登録内容を本装置に保存します。送信しません。 後で保存内容を呼び出して送信することができま す。
すぐ送信	登録内容を送信します。

の準

備

を



パスワードを登録、変更する

パスワードにはログインパスワードとコンフィグレーションパスワードがあります。ログイ ンパスワードは本装置へログインする場合に、コンフィグレーションパスワードはコンフィ グレーションモードに移行してルータ機能を設定する場合に入力します。コン フィグレーションパスワードが設定されていないとルータ機能は設定できません。 またコンフィグレーションパスワードが設定されていないと、ファームウェアのアップデー ト設定ファイルの転送ができません。(~P55、56)

ログインパスワードを登録、変更する

<web< th=""><th>ブラウザ操作 ></th></web<>	ブラウザ操作 >
1 [パスワード登録変更] をクリックします。
2	ログインパスワード] をクリックします。 コグインパスワードの登録変更画面が表示されます。
] 	ログインパスワードの登録変更 Bパスワード: mパスワード:
¥ 	確認の為、新パスワードを再度入力して下さい: リセット 送信
3 [II	日 パスワードを入力します。 はじめてログインパスワードを登録するときは、旧パスワードの 、力は不要です。
4	新パスワードを入力します。
5 3	確認のため、新パスワードをもう一度入力し ます。
다. 18 19 19 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	コ <i>グインパスワードの登録変更</i> Bバスワード: ******* 新バスワード: ******* 確認の為、新バスワードを再度入力して下さい: *******
6]]]]	殳定が終わったら、[送信]をクリックしま す。 ^{設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。}
7 [OK]をクリックします。



お知らせ

コマンドでパスワードを設定する場合、 10BASE-Tポート経由、シリアルポート経 由ともに操作手順は同じです。



パスワードを登録、変更する

コンフィグレーションパスワー	ドを登録、変更する	
1	[パスワード登録変更]をクリックします。	
2	[コンフィグレーションパスワード]をク リックします。	
	コンフィグレーションパスワードの登録変更画面が表示されま す。	
	コンフィグレーションパスワードの登録変更 IBバスワード: 「 輸がスワード: 「 確認の為、新バスワードを再度入力して下さい! 」 リセット 迷信	
	<u>トップメニューへ</u>	
3	旧パスワードを入力します。	
	はじめてコンフィグレーションパスワードを登録するときは、旧 パスワードの入力は不要です。	
4	新パスワードを入力します。	
5	確認のため、新パスワードをもう一度入力し ます。	
	コンフィグレーションパスワードの登録変更	
	 旧バスワード: ▼******* 新バスワード: ▼****** 確認の為、新バスワードを再度入力して下さい: ▼****** 	
	リセット 送信	
6	設定が終わったら、[送信]をクリックしま す。	
	設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。 	
7	[OK]をクリックします。	



お知らせ

コマンドでパスワードを設定する場合、 10BASE-Tポート経由、シリアルポート経 由ともに操作手順は同じです。



時刻の設定

本装置の現在時刻を設定します。

<Webブラウザ操作>

[現在時刻の設定]をクリックします。

現在時刻の設定画面が表示されます。

現在時刻の設定	
1999 〒年 101 三月 101 三日	
◎ ■時 ◎ ▼ ◎ ▼分	
リセット 送信	
	<u> トップメニューへ</u>

- 年(西暦)月、日、時刻を設定します。 をクリックすると一覧が表示されて、その中から設定する項目 をクリックして選択することができます。
- 3 設定が終わったら、[送信]をクリックします。

設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。

[OK]をクリックします。

<コマンド操作>

1 コマンド入力待ち状態で「date」と入力し、 続けて年(西暦)、月、日、時刻を入力しま す。

年は西暦の下2桁を入力します。

(例)1999年5月5日12時0分0秒を設定する場合

#date 990505.120000

2 時

#

時刻が設定され、入力待ち状態になります。



本装置に接続した電話からも現在時刻の設定を行うことができます。(~ P107)

お願い

お買い求め直後や、1週間程度電源OFFに した場合は、必ず時刻の設定を行ってくだ さい。



ファームウェアのアップデート

ファームウェアファイルを端末から本装置へ書き込み、Webブラウザで設定した設定情 報を保存することができます。

(ファームウェアと設定ファイルの2種類のファイルがあります。)

<Webブラウザ操作>

最新ファームウェアを本装置へ送信し、ファームウェアをアップ デートします。まず、ホームページから最新のファームウェアを 端末にダウンロードしてからアップデートしてください。 (例)「C:¥mucho¥update¥EXFIRM」にファームウェアファイルを保 存している場合

2 する 型する



2 [ファームウェアをアップデートする]をク リックします。

ファームウェアのアップデート画面が表示されます。



3 [参照]をクリックし、端末に保存されてい るファームウェアファイルを選択します。



お知らせ

コンフィグレーションパスワードが設定さ れていない状態でファームウェアのアッ プデートを行おうとすると、「パスワー ドを設定してください」というメッセー ジが表示され、ファームウェアのアップ デートはできません。先にコンフィグ レーションパスワードを設定してくださ い。(*P52)

最新のファームウェアは、MUCHOホー ムページからダウンロードして、入手し てください。(~P324)

ファームウェアのアップデート後は、本 装置をリセットしてください。(~P39) ┃ 設定が終わったら、[アップデート]をクリッ │ クします。

最新ファームウェアが本装置に送信されます。

▶ │ファームウェアのアップデート後は、本装置 │をリセットしてください。



ファームウェアのアップデート

<コマンド操作>

FTPを使ってファームウェアをアップデートすることができます。 ログインに必要なデータは下記の通りです。

出荷時の状態ではパスワードが設定されていません。パスワード を設定してから操作してください。

項目	説明
HOST	本装置のIPアドレス(工場出荷時は
	192.52.150.1)
ユーザID	root
コンフィグレーション	本装置のコンフィグレーションパスワード
パスワード	
Directory	指定なし

FTPでログインします。

IPアドレス、ユーザID、コンフィグレーションパスワードを入力します。

ftp 192.52.150.1		
Connected to 192.52.150.1.		
220-Wait a moment. Now checking firmware.		
220 FTP server ready.		
Name (192.52.150.1): root 🔫 🚽	— rootと入力	
331 Password required for root.		
Password: <	― コンフィグレーションパスワード	
230 User root logged in.	を入力	



端末に保存されているファームウェアファイ ルを本装置にバイナリでPUTします。

MUCHO-EXとEVではファームウェアのファイル名が違います。 下記のファイル名を使用してください。

機種	ファームウェアファイル名
MUCHO-EX	EXFIRM
MUCHO-EV	EVFIRM

ftp> binary 200 Type set to I.

3

ftp> put EXFIRM

バージョンを確認します。

本装置の中にある「FIRMINFO」ファイルを確認します。

ftp> get FIRMINFO -	
200 PORT command ok.	
150 Opening data connection for FIRMINFO (1	92.52.150.2,1829).
SIDE-A: VALID	
ID: WAKATO	
EXTID: MUEX	
FIRM VER: V01.00	
FILE VER: 041099	
226 Transfer complete.	
remote: FIRMINFO	
87 bytes received in 0.0036 seconds (24 Kby	tes/s)
ftp>	

「SIDE-A」という項目が「VALID」になっていることを確認し てください。「INVALID」になっていた場合、再度PUTし直す必 要があります。



ftp> bye

お知らせ

新しいファームウェアで動作するには、本 装置をリセットしてください。



「INVALID」が表示されているとき、端末 および本装置の電源をOFFにしたり、リ セットしたりしないでください。本装置が 動作しなくなる可能性があります。



設定ファイルの転送

本装置に設定されている設定情報を端末にダウンロードして保存することができます。ま た、保存した設定情報を本装置にアップロードすることもできます。 本装置では、ルータ機能に関する設定と電話機能に関する設定が別々のファイルで保存 されています。

ルータ機能設定ファイルのファイル転送

<Webブラウザ操作>

 [ファイル転送]をクリックします。
 ルータ機能設定ファイルをアップデートする 場合は[ルーター設定ファイルをアップデート する] ルータ機能設定ファイルのバックアッ プをとる場合は[ルーター設定ファイルをダ ウンロードする]をクリックします。

(例)[ルーター設定ファイルをアップデートする]を選択した場合



3 アップデートする場合は、[参照]をクリックし、アップデートするファイルを選択します。



ダウンロードする場合は、[ダウンロード]をクリックします。

4 アップロードする場合は、[アップロード] をクリックします。ルータ機能設定ファイル をアップロードします。

ダウンロードする場合は、ファイルのダウンロード画面で[OK] をクリックすると、ダウンロードが開始されます。

<コマンド操作>

1

FTPを使いルータ機能設定ファイルを本装置と端末の間でファイル転送することができます。ログインに必要なデータは下記の通りです。 出荷時の状態ではパスワードが設定されていません。パスワードを設定してから操作してください。

項目	説明
HOST	本装置のIPアドレス(工場出荷時は
	192.52.150.1)
ユーザID	root
コンフィグレーション	本装置のコンフィグレーションパスワード
パスワード	
Directory	指定なし

FTPでログインします。

IPアドレス、ユーザID、コンフィグレーションパスワードを入力 します。

ftp 192.52.150.1				
Connected to 192.52.150.1.				
220- Wait a moment. Now checking firmware.				
220 FTP server ready.				
Name (192.52.150.1): root 🗲 rootと入力				
331 Password required for root.				
Password: 🗲 コンフィグレーションパスワード				
230 User root logged in. を入力				

2 端末に保存されているルータ機能ファイルを 本装置にバイナリでPUTします。

MUCHO-EXとEVではルータ機能設定ファイル名が違います。 ファイル転送には下記のファイル名を使用してください。

機種	ルータ機能設定ファイル名		
MUCHO-EX	EXCONF		
MUCHO-EV	EVCONF		

(例)装置から読込む

ftp>binary		
200 Type set to I.		
ftp>get EXCONF		

(例)装置へ書き込む

ftp>b	oinary			
200	Туре	set	to	I
ftn>r	ut EX	CO	NF	

3 ログアウトします。

お知らせ

設定の準備を

新しいルータ機能設定ファイルで動作する には、本装置をリセットしてください。

ftp> bye

電話機能設定ファイルのファイル転送

本装置のアナログ機能に関する電話設定ファイルをバックアップ / アップロードします。ファイルが保存されていれば、その設定ファイルを読み込むだけで設定し直す必要がなくなります。

<Webブラウザ操作>

2 電話機能設定ファイルをアップデートする場合は[電話設定ファイルをアップデートする]電話機能設定ファイルのバックアップ をとる場合は[電話設定ファイルのバックアップ たとる場合は[電話設定ファイルをダウン ロードする]をクリックします。

「ファイル転送」をクリックします。

電話設定ファイルのアップデート	-
アップデートを行う電話設定ファイルを指定して下さい。 参照	<u>.</u>
リセット アップデート	

3 アップデートする場合は、[参照]をクリックし、アップデートするファイルを選択します。

電話設定フ	⁷ ァイルのア	ップデート			
アップデートを行う	ファイルの選択				? ×
	ファイルの場所(0:	🔄 update	•	£ ř	▶=== ▶=== ▶===
	Exconf_tel				
リセット 7					
	」 ファイル名(<u>N</u>):	Exconf_tel			開K⊚
	ファイルの種類(工):	すべてのファイル (**)			キャンセル

ダウンロードする場合は、[ダウンロード]をクリックします。

↓ アップロードする場合は、[アップロード]をク リックします。電話設定ファイルをアップロー ドします。

ダウンロードする場合は、ファイルのダウンロード画面で[OK] をクリックすると、ダウンロードが開始されます。

お知らせ

本装置をデフォルトリセットした場合、電 話設定ファイルは消去されます。(**~**P48) 2

┃ する し 定の準備を 設定ファイルの転送

<コマンド操作>

FTPを使い電話機能設定ファイルを本装置と端末の間でファイル 転送することができます。ログインに必要なデータは下記の通り です。

項目	説明
HOST	本装置のIPアドレス(工場出荷時は
	192.52.150.1)
ユーザID	root
コンフィグレーション	本装置のコンフィグレーションパスワード
パスワード	
Directory	指定なし

FTPでログインします。

IPアドレス、ユーザID、コンフィグレーションパスワードを入力 します。

ftp 192.52.150.1				
Connected to 192.52.150.1.				
220-Wait a moment. Now checking firmware.				
220 FTP server ready.				
Name (192.52.150.1): root 🗲 🗕	rootと入力			
331 Password required for root.				
Password: ┥	コンフィグレーションパスワード			
230 User root logged in.	を入力			

2 端末に保存されている電話機能設定ファイル を本装置にバイナリでPUTします。

MUCHO-EXとEVでは電話機能設定ファイル名が違います。 ファイル転送には下記のファイル名を使用してください。

機種	電話機能設定ファイル名	
MUCHO-EX	EXCONF_tel	
MUCHO-EV	EVCONF_tel	

(例)装置から読込む

	_
ftp>binary	
200 Type set to I.	
ftp>get EXCONF_tel	

(例)装置へ書き込む

ftp>binary 200 Type set to I. ftp>put EXCONF_tel

ログアウトします。

ftp> bye

3

お知らせ

新しい電話機能設定ファイルで動作するに は、本装置をリセットしてください。

設定画面の一般的な操作方法とみかた

(例)

電話の着信転送設定のTEL1ポート画面



ラジオボタン

画面の項目の左にある や ⊙のボタンです。ラジオボタンがついている設定項目は、どれか1つしか選択できません。
 例えば、[着信転送]の選択では、[しない]か[する]のどちらかしか選択できません。
 ⊙が現在の設定値です。変更するときは をクリックして⊙にします。

チェックボタン

画面の項目の左にあるのボタンです。チェックボタンがついている設定項目は、複数選択することができます。例えば、[暗証番号]の選択で、[設定用]と[解除用]のいずれも選択できます。また、どちらか一方を選択する、または どちらも選択しない設定ができます。

クリックするとチェックマーク、になります。チェックマークがつくと選択されたことになります。

入力欄

画面の入力欄があり、数値やアドレスを入力するときは、入力欄をクリックします。カーソルが表示されて、数値が入 力できるようになります。

選択ボックス

選択されている項目は、選択ボックスに表示されています。 をクリックすると、選択項目の一覧が表示されて、その 中から設定する項目をクリックして選択することができます。